

化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

後期

科目No.	158	科目名	化学物質総合管理法4		サブネーム	環境政策		
連携機関名		レベル	中級		講義枠	土曜日	講義時間	10:00~11:30、11:50~13:20
科目概要	環境汚染や健康被害を防止し、自然環境や地球環境を保全するために環境省が進めている環境政策について、その歴史や全体像を概説するとともに、大気環境、水環境、地球環境、廃棄物・リサイクルなどの分野ごとに、問題の現状、対策の枠組み、今後の課題などについて解説し、これからの環境保全対策をどのように進めていけばよいかを考える。							

サブタイトル	講義名	講義概要	講義日	教室	講師名	所属
環境政策の全体像	1 環境問題と環境政策の歴史	公害問題から地球環境問題に至る環境問題の歴史を振り返り、その中で成立してきた環境政策の基本的考え方や施策の変遷を概説する。(冒頭に全体の進め方を説明する。)	10月14日	1号館302	早水輝好	環境省総合環境政策局
	2 環境政策の基本的枠組みと環境基本法	現在の環境政策や環境行政の基本的な枠組み・体系を概説し、環境基本法及び環境基本計画の骨格を紹介する。	10月14日			
水環境等の保全	3 環境基準と水質汚濁防止法	水環境の現状を紹介するとともに、水環境保全施策の基本となる環境基準の設定の考え方と水質汚濁防止法の骨格を解説する。	10月21日	1号館301	高橋康夫	環境省水・大気環境局
	4 閉鎖性水域対策と土壌・地下水の保全	水環境保全施策の中で特に近年課題となっている湖沼や東京湾などの閉鎖性水域の保全施策と地下水・土壌の保全施策を概説する。	10月21日			
大気環境の保全	5 固定発生源対策	大気汚染の歴史と現状を概観し、大気汚染防止法等に基づく工場・事業場からの大気汚染削減の枠組みを解説する。	10月28日	1号館302	戸田英作	環境省環境保健部
	6 移動発生源対策	近年特に問題になっている移動発生源(自動車)による大気汚染を防止するための様々な取組みを解説する。	10月28日			
化学物質対策	7 化学物質の環境リスク評価	化学物質による環境リスクを評価するための有害性試験、環境モニタリング、暴露予測の手法と我が国における実施状況について解説する。	11月11日	人間文化研究科棟 6階 大会議室	戸田英作	環境省環境保健部
	8 化学物質対策の国際的・国内的枠組み	化学物質管理に関する国際条約等の動向と、我が国における化学物質審査規制法、農薬取締法、化学物質排出把握管理促進法等の制度について解説する。	11月11日			
廃棄物・リサイクル対策	9 廃棄物の適正処理	家庭から排出されるごみ(一般廃棄物)や工場などから排出される産業廃棄物を適正処理するための仕組みと最近の動向について解説する。	11月18日	1号館301	瀧口博明	環境省廃棄物・リサイクル対策部
	10 循環型社会の構築	循環型社会の構築のための基本的考え方と、そのために導入されている様々なリサイクル制度について解説する。	11月18日			
自然環境の保全	11 自然環境の現状と自然環境保全施策の枠組み	我が国の自然環境の現状や推移について自然環境保全基礎調査などの結果をもとに紹介するとともに、自然環境保全施策の基本的枠組みを概説する。	11月25日	1号館304	谷川 潔	環境省自然環境局
	12 野生生物の保護	生物多様性の保全、外来生物対策など、近年次第に充実してきた野生生物保護のための様々な施策について解説する。	11月25日			
地球環境の保全	13 地球温暖化対策	近年最も重要な課題となっている地球温暖化対策について、国際的な動向を紹介するとともに、京都議定書の削減目標達成のための国内施策を解説する。	12月9日	1号館301	塚本直也	環境省地球環境局
	14 その他の地球環境保全対策	オゾン層の保護、酸性雨対策、海洋環境の保全など、様々な地球環境保全対策の現状と課題について解説する。	12月9日			
環境アセスメント	15 環境アセスメントの制度と運用	大規模な公共事業などを実施する前に環境への影響について調査・予測・評価を行い、住民などの意見を聴取する環境アセスメントについて、制度の骨格や事例を解説し、よりよい進め方を考察する。	12月16日		早水輝好	環境省総合環境政策局